



2022 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 神東塗料株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 高沢 聡
(コード：4615)
問合せ先 企画・経理室部長 森 友宏
(TEL. 06-6429-6264)

**連結業績予想の修正、特別損失（減損損失及び品質不適切行為関連費用）の計上、
繰延税金資産の取り崩し及び配当予想の修正に関するお知らせ**

最近の業績動向をふまえ、2021 年 7 月 30 日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、特別損失（減損損失及び品質不適切行為関連費用）の計上、繰延税金資産の取り崩し及び配当予想の修正について、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2022 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (2021 年 7 月 30 日公表)	百万円 19,000	百万円 20	百万円 150	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想 (B)	19,136	△343	△243	△1,825	△58.95
増 減 額 (B - A)	136	△363	△393	△1,825	
増 減 率 (%)	0.7%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021 年 3 月 期)	20,193	51	167	679	21.93

(2) 修正の理由

2022 年 3 月期通期の業績につきましては、原材料価格の高騰に対し、製品価格は正にも取り組み一定の成果をあげましたものの、原材料価格上昇の一部を転嫁するにとどまり、予想値を下回り営業損失及び経常損失を計上する見込みとなりました。また、後述のとおり、当社において特別損失として固定資産の減損損失及び品質不適切行為関連費用を計上する予定となりましたこと、並びに、繰延税金資産を取り崩す予定となりましたことから、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなりました。

2. 特別損失の計上

(1) 固定資産の減損損失

当社が保有する資産のうち、塗料事業及び全社資産に係る固定資産について将来の回収可能性を検討しました結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、384 百万円を特別損失として計上することを予定しております。

(2) 品質不適切行為関連費用

当社は、2022年4月28日付「当社製の一部製品に係る不適切行為に関する調査報告書公表のお知らせ」で既報のとおり、当社製の一部製品に関し不適切行為の事実が判明しました。これに伴い、特別調査委員会による調査費用等370百万円を特別損失として計上することを予定しております。

3. 繰延税金資産の取り崩し

当社は、現在の事業環境及び今後の業績見通し等をふまえて、将来の課税所得及び繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討しました結果、繰延税金資産734百万円を取り崩すことを予定しております。

4. 配当予想の修正

(1) 期末配当予想の修正

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2021年5月14日公表)		5円00銭	5円00銭
今 回 修 正 予 想		2円50銭	2円50銭
当 期 実 績	0円00銭		
前 期 実 績 (2021年3月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

(2) 修正の理由

当社では、経営上重要な施策の一つである、株主の皆様への剰余金の配当につきましては、業績、配当性向並びに今後の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案することを基本としております。

2022年3月期の剰余金の配当予想につきましては、今回の連結業績予想の修正により、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなりましたため、誠に遺憾ではございますが、前回の期末配当予想から2円50銭減配の1株当たり2円50銭とすることを予定しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

以上